

# ある国立 歩記

KUNITACHI・ARUKI



vol. 28

2014年 秋号

TAKE  
FREE

特集：つなぐきもち  
つたえるかたち

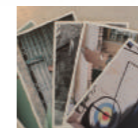
ニャン太のくにたち 南へ北へ  
国立ゆかりのアーティスト  
秋のアート散策ツアー  
くにたち新聞

## kunitachiaruki present

プレゼント有効期限：14年12月末日迄



ディナー半額券  
(通常4,320円→2,160円)  
SAISONNIER (P5)  
4名様



ポストカード5枚セレクト  
セット (750円相当)  
LAMAPACOS (P6)  
5名様



1,000円分のお食事券  
くにたち野菜工房  
中道カフェ (P5)  
3名様



ランチ「お昼のひととき  
コース」(1,404円相当)  
旬菜和食 葉月 (P6)  
5名様

**伝助さんクイズ!** 特集に登場した「幸せのみみずく」。素朴で可愛らしい縁起物ですが、その発祥地といえば?  
1.ギリシャ。女神アテナの使いがフクロウだから  
2.雑司が谷。鬼子母神堂に伝わる母娘の物語に登場  
3.ホグワーツ。ある魔法使いが飼っていたペットに由来

抽選で5名様に「ボージョレ  
ヴィラージュヌーヴォーくに  
たち2014」をプレゼント!  
皆様のご応募を心よりお待ちしております。

**[プレゼント応募要項]** はがきに、①ご希望のプレゼント名1つと応募の理由(伝助さんQUIZはその答え)②住所・氏名・電話番号・職業・年代を明記のうえ、③面白かった記事、本誌へのご意見・ご感想をお書きになって、下記までお送りください。【宛先】〒190-0011東京都立川市高松町3-14-13 (株)ビックス気付国立歩記編集部「プレゼント」係【締切日】2014年11月15日(土)当日消印有効 ※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

**[編集後記]** 桜のワークショップやギャラリーをはじめ、アートいっぱいの国立歩記秋号。お気に入りの作品は見つかりましたか?僕はギターリスト・伊藤ゴローさんのアルバムを秋のBGMにしています。ジャンルの壁を越えた音色は、読書や散策にぴったり。もちろん解禁を1ヶ月後に控えた、ボージョレ・ヌーヴォーのお供にも良さそうですよ。読者の皆様もお好きな作品やアーティストと一緒に、素敵な秋をお過ごしください!(D)

### おかげさまで11周年! セキヤビルFLOOR GUIDE

FLOOR	NAME	TEL	OPEN/CLOSE
7F	多目的ホール セキヤホール	042-576-7728	受付 平日 10:00-17:00 (利用 月-日 9:00-21:00)
	宮地楽器音楽教室 国立センター	042-505-5656	月-土 10:00-21:00 / 日 10:00-16:00(祝日休)
6F	オーブンスクール NHK 学園	042-574-0570	月-金 9:30-21:00 土日 10:00-17:00 (祝休)
5F	GEO フィットネス国立	042-580-4538	月-水金 10:00-23:00 / 土 10:00-21:00 日祝 10:00-20:00 (木休)
4F	宮崎県日南市 塚田農場 国立店	042-580-4502	11:30-14:30 (土日祝休) / 17:00-23:00 (月-木日)・17:00-24:00 (金土祝前)
	隠れ庵 忍家 国立店	042-574-5288	17:00-25:00 (年中無休)
	エステサロン さくら	042-572-3000	10:00-20:00 (月休)
	幼児教室 ジャック国立教室	042-573-6880	9:30-18:30 (年中無休)
3,2,1F	SEIYU 国立店	042-576-2401	24H 営業 (年中無休)
B1F	SAKE-BOUTIQUE SEKIYA	042-571-0001	[1F] 11:00-22:00 (年中無休) [B1F] 11:00-20:00 (水休)
	ドイ ツ 武 フォムファス	042-572-4741	11:00-19:00 (水休)
	30農家のくにたち野菜タバスコ	042-505-6736	17:30-23:00 (L.O.22:15) (月・第一火休)

### 第二せきやビル&シェ・ルイ

タリーズコーヒー 国立店	042-501-0336	月-土 8:00-22:00 日 8:00-20:00 (定休日なし)
ムッシュソレイユ 国立店	042-577-5168	火-日 10:00-19:00 (月休)



締切迫る! 防火・救急標語募集中。

ウェブからのプレゼント  
応募はこちら



kunitachiaruki.jp

パソコン・スマートフォンなら上 URL  
を、携帯電話なら QR コードをどうぞ(一  
部の携帯は未対応)。QR コードはデン  
ソーウェアの登録商標です。

ワイン・焼酎・日本酒 etc.  
せきや秋の試飲会

2014年10月26日(日)  
せきやビル 7F エソラホール  
一部 12:00 / 二部 15:00  
前売券 2,700円  
<好評発売中>  
ムッシュソレイユ限定パン付  
詳しくはお問い合わせください



国立市中 1-9-30  
国立駅より徒歩1分  
www.sekiya.co.jp

カキガキ スイッチ  
チンチロリン 月  
ソマソの時  
牛や馬も聴いている

白地図を片手にくにたちを探そう！  
案内人といっしょに  
“くにたちを感じる  
地図旅”



地域の人が案内人となって、地図を片手に歩いて、見て、感じる。インターネットで検索しても出てこないような、とっておきの場所を巡るまち旅。9月に第1回を開催し大好評だった。11月は「幸せのみみずく」と題し、多摩川の河原からすすきを摘んで縁起物のみみずく作りを楽しむ他、自然界の落とし物を観察しながらクラフトに挑戦。続く12月は谷保の農家で年末に食べ続けられている“煮いだんご”と一緒に作り、古民家で地元の方と囲炉裏を囲み1年を振り返る。当日は白地図を手に案内人おすすめのスポットや参加者が気になった場所を地図に記していき、自分だけのくにたち地図を作る。昼食は地元野菜をふんだんに使ったお弁当や料理を用意。帰りに土産も(!?)。おたのしみ!

幸せのみみずく



【日時】11月9日(日)  
10~15時  
【案内人】大谷和彦さん  
(環境省認定環境カウンセラー)  
【場所】くにたち郷土文化館集合  
【定員】30名

煮いだんごって何？



【日時】12月28日(日)  
10~14時  
【案内人】佐伯安子さん  
(くにたちの生活を記録する会代表)  
【場所】くにたち郷土文化館集合  
【定員】20名

【参加費】3,000円(保険、昼食代込)  
子ども1人同伴3,500円  
主催/くにたちかけんワークス  
協力/くにたち郷土文化館

●申込・お問合わせ  
kunitachikagen100@gmail.com  
☎090-6533-7707(服部)



さくら通りの一車線化工事にもなって、今後は街路樹診断等により、数十本程度の桜が植え替えられる予定。「さくら組」では、それらの桜材を使って、小中高の総合学習や図画工作の授業に、また地域特産としてのプロダクト開発や福祉関連のモノづくり就労など、さまざまな提案をもっている。目下の課題は、膨大な木々の保管場所と資金、人材集めなど。行政との連携も欠かせない(写真は2014年3月)。



**市民祭でワークショップを開催します**  
**11月3日(祝・月)国立駅前大学通り**

時間: 10:00~16:00の間  
内容: 大学通りの桜でベンチを作ろう!  
※小学生以下は保護者同伴  
参加費: 500円(保険代含む)  
※参加者は桜の端材を持ち帰り可。  
【主催】くにたちさくら組  
【共催】(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団  
(くにたちアートビエンナーレ実行委員会)

**ご協力・ご支援のお願い**

くにたちさくら組では、活動資金、木材を保管するための空きスペース(倉庫)、ボランティアサポート(人材)について、みなさまのご協力とご支援を求めています。詳細は右記、連絡先までお気軽にご連絡ください。宜しくお願い申し上げます。

クショップを仕掛けている。一緒につくって確かめて、くにたちの桜ともっと深く、付き合っていきませんか。  
【問】電話042(505)7126(やばろじ・ワークスペース内)またはメール sakura@wakworks.jp まで。

ご縁でつながる  くにたち結び [其の九]

# つなぐきもち つたえるかたち

まちとともに成長してきたくにたちの桜の木。  
その生命の営みを、アート力で次世代へ。  
桜がつなぐ夢にあなたも参加しませんか。



[写真上(左から)]くにたちさくら組のメンバー(左から大塩英生さん、和久紗枝さん、藤田康平さん)。「小学生の頃は、大学通りが通学路で花びらを拾ったり毛虫にびっくりしたり、それぞれの思い出をカタチに残せたら」(紗枝さん)。「桜は切って一時間もすると硬化してくる。木の性質を知ること大事」(大塩さん)。ワークショップでは、子どもたちや日曜大工の得意なお父さん、美術系の学生さんなどさまざまな人が集まる。その幹にコケや虫を育み、生態系の一部としても機能していた桜をしのびながら、ワイワイとにぎやかに。

[写真下(左から)]小さくカットしてスプーンやコースター、プレスレットなどの小物もつくれる。電動工具では一瞬だが、のみを入れて、ゆっくりと昔ながらの方法で木を割っていく。大きく半分カットすれば楽しいベンチになる。切り立ての木の断面からは桜の香りがする、あの桜餅の香りがし、幹を皮ごと水につけておくと真っ赤になるので染色にも使えるという。

桜の枝や幹を活かそう。  
「くにたち さくら組」

大学通りの桜が植えられてから、今年で約80年。桜守などの保護活動のおかげで、私たちは美しい春の風景を堪能しているが、じつは毎年のように傷んだ数本が伐採されている。そんな桜をただチップにしてしまおうのはもったいないと、動き出したのが、「くにたちさくら組」。

きっかけをつくったのはこの春、ご近所の一本のヤマザクラの伐採を知った元美術教師の大塩英生さん。

「これまで楽しませてくれた桜だから、アート活動として活かしたくてね」

くにたちアートビエンナーレ(P7参照)の関連イベント一環として桜の木ワークショップを提案、ヤマザクラを引き受けた。大塩さんの教え子の一人で「さくら組」の活動を担う和久紗枝さんは、

「桜という木に向き合って、手で触って、皮をはいたり、割ったり、削ったりできる。こんなチャンスは滅多にないです。本当にドキドキするくらい面白い」という。

この面白さをみんなで分かち合いたいと、「さくら組」では次々と公開ワー

# 2014 国立ゆかりのアーティスト

(敬称略)

たにやま あやこ  
谷山 彩子  
イラストレーター



現在、谷山さんは「暮しの手帖」や「スカイワード」(JALの機内誌)などいくつかの雑誌で連載をもっている。20年近くの間、割りばしを削ったペンで描いてきたイラストは、シンプルでありながら洗練されていて力強い。昨年2月には都心にあったアトリエを地元国立に移して、地域とも関わるようになった。最近では旭通りにある居酒屋「ニチニチ」の手ぬぐいなど布周りのデザインにも取り組んでいる。朝は早起きして家の中を整えて、一日の仕事を終えた夜には手料理を作って家族と共に味わうことが何よりの楽しみだという谷山さん。「基本の暮らしをきちんとする」モットーがプロの仕事の礎となっている。  
<http://taniyama3.tumblr.com/>

よしえ  
Yoshie  
ベリーダンサー

「女性にとって踊ることは、心と身体の解放に繋がるので自然なこと」というベリーダンサーのYoshie (国立歩記12号で紹介)さんは、1年前に第一子を出産した。臨月には市内にある自然食レストラン「トビナプール」で最後の踊りを披露して、産後3か月ほどでダンサーとして舞台復帰を果たした。生徒たちからは「以前よりもさらにパワフルでダイナミックな踊りになった」と評判だ。今年2月からは北口駅前に教室を移して、母としての視点から赤ちゃん連れOKのお母さんのためのクラスを開講。身体に負担を掛けずに、インナーマッスルを鍛えられるベリーダンスの詳細はWebへ。  
<http://atelier-mnemosyne.com/>

いとう  
伊藤 ゴロー  
ギターリスト/作曲家



「小学2年のときはクラシックオタクでした(笑)」というゴローさん。ギターの音に惹かれて中学で手に入ると、すぐ作曲に挑戦した。ジョン・レノンやエルヴィス・コステロたちの影響も受けながら、ギターが主役のボサノヴァ音楽の世界へ。昨年、ブラジル音楽・ボサノヴァを代表する名盤『ゲッツ/ジルベルト』発売50周年記念のトリビュート盤をプロデュースし、ブラジルディスク大賞を受賞。原田知世、ペンギン・カフェ・オーケストラなど国内

最新アルバム「POSTLUDIUM」。アートワークは平出隆さん(国立在住の詩人・装丁家。多摩美術大学教授)に依頼。2012年から「朗読と演奏」のコラボレーション「Tone Poetry」を開始。

外のジャンルを超えたミュージシャンのプロデュースも手がけ、共演は数えきれない。心地よいその繊細なメロディは、ライブで、ぜひ! ツアー日程はWeb (<http://itogoro.jp/>)で。



国立市在住。ボサノヴァ・デュオnaomi & gorō、ソロなど国内外でアルバムをリリース。映画・CM音楽なども手がけ、活動は多岐にわたる。  
ニューアルバム「RENDEZ-VOUS IN TOKYO」11/19 発売(Verve)

あかがわ ボンズ  
赤川 BONZE  
銅板人形造形作家



本名、赤川政由。1951年大分県生まれ。1974年BONZE工房を立川外人ハウスに開設。現在も弟子をとりながら制作活動に励む。詳しくは、BONZE WORKSで検索。



[市内の作品] ▲国立せきやビル袖看板「星をとる少女」 ▲富士見台のマンション入口「本を読む少女」 ▶西2丁目マンション入口「本を持つ少女」

赤川さんが銅版作家としてのスタートを切ったのは20代の頃で、最初は銅で小さなオーケストラ人形のペンダントなどのアクセサリーを作っては路上で販売していたという。この「オーケストラペンダント」が「音楽の街」国立などで大ヒットをして、マスコミなどを通じてその名前が広く世に知られることとなった。

その後、国立市内にある喫茶店「ひょうたん島」に仲間たちと「ノイハウス」というクラフト団体を立ち上げるなど国立とは縁が深い。

やがて「まちづくり」の一貫としての大物作りにも携わるようになり、北は北海道から南は九州まで、全国で300体以上もの赤川さんの銅版作品が街行く人たちの目を楽しませている。その内20数体は、赤川さんが暮らしている立川市内にある。

「街にある作品を通して、子どもたちにその街の歴史や人々の考えなど色々なことを伝えていきたい」と語る赤川さんの作品は国立市内にもいくつか展示されている。今年の9月上旬には三小通りのバス停横に「今日無事(こんにちぶじ)」(左)というかぼちゃを手に捧げ持つ男の子の銅像が飾られたばかりだ。



「なんだろう、楽器の音が聞こえるよ。ちょっと覗いてみよう!」  
白井園長「こんにちは。今園児たちが合奏の練習をしているところです!」  
「あーここは保育園なんだね。」  
白「はい。今練習しているのは3歳から5歳までの子どもたち。ほら、小さい子どもみんな騒いだり楽器を乱暴にしたりしてないでしょう?」  
「うん、みんな真剣な顔してる!」  
白「楽器は子どもも用というより、

母子2代で  
まちづくりから保育園まで!  
子どもが育つ環境づくり。  
受け継がれる想いって?



和光保育園  
白井耀子 園長

「子どもと接すると心が励まされます」とおっしゃる園長は御年80歳! 「元気な先輩方が国立には多いんですよ。私も元気をいただいています」



vol. 2  
[和光保育園] 昭和29年應善寺境内に開園。園児は定員108名。創立者のひとり松岡きくは文教地区運動において中心となり活躍、また国立町議会(現在の市議会)初の女性議員でもあった。国立市東2-2-1(042-580-0843)

ニヤン太のくにたち  
南へ  
北へ

国立は東、應善寺の前を通りかかるとニヤン太くん。「いやー秋のお寺の静けさは心が落ち着くんだニヤ。」  
境内でひなたぼっこでもして「いこうかニヤ」その時、お寺の奥から、楽しい音楽が聞こえてきたのでした。

質の良い物を選ぶようにしています。そうすればみんな自然と大切に扱うようになるんですよ!」  
「へー! いい音してると思ったよ。」  
白「練習した曲は年に一度の発表会で披露します。また昨年の60周年記念コンサートでは父母・祖父母の方たちにも合唱隊として参加していただきました。和光の創立者である母の頃から「音楽教育」を大切にしていますが、音楽の感動が子どもたちの情操教育にとつ



▲年齢ごとにサイズの違う手作り椅子。園の設備や遊具はあたたかみのある自然素材のものを選ぶようにしているそうです。  
▼毎週金曜日に開かれる音楽の時間。プロの講師2名を招いて本格練習。5年毎には創立周年記念コンサートを芸小ホールで開催しています。

て重要だと思っんです」  
「なるほどにやあ。くんくん: あれ、おいしいそうなおいがしてきた!」  
白「そろそろ給食の時間です。給食とおやつは安全性やアレルギーのことを考えて園内で手作りしています。今こそアレルギーの対応はどことも当たり前ですが、私たちが対応し始めた昭和62年には全国でも先駆けだったんです。ニヤン太くんもよかったですね!」  
「わー! いただきます!」  
白「そう、「いただきます」や「ごちそうさま」といった挨拶が大切。お食事は生きものの命をいただくことですから丁寧に。ニヤン太くんはもうぱっちりですね!」  
「へへ、褒められちゃったニヤ。」  
白「して良いこと、悪いことが判るよう子どもたちにもきちんと伝えていきます。子どもといっても子どもも扱いはせず、一人の人格として育てること」  
「心にかけているんです!」  
「保育園って子どもを預かってくれるだけじゃないんだね。こんなところがあれば子どもができて安心だニヤ。」



▶食物アレルギー対応の手作り給食。食品それぞれの産地も保護者に報告しています。昭和62年、入所した園児がアレルギーだったことをきっかけに職員で勉強を開始。市に補助金を要望し実現したことが全国でも先駆けの事例となり、評判に。

▶苦手な食べものがある子は「先生!○○は遠慮します」と挙手で自己申告。これで残さず食べられます。また教室奥に見える斜めの柱は耐震補強設備。災害対策もしっかり。





ラマパコス

## LAMAPACOS

谷保にできた新名所  
笑い声あふれる週末ギャラリー

造形作家の関田孝将さんと奥様で写真家の利佳さんが営むギャラリー。「手から生まれた道具・作品をもっと身近に感じてもらえたら」と今年4月に開店。店内は関田さんの作品をはじめ、2人が共感するモノづくり作家の作品がひしめく宝箱のような空間に。定期的に催されるイベントも人気のひとつ。ぜひとも覗いてみたい。

国立市富士見台1-14-2-4  
[WEB] <http://lamapacos.net>  
[OPEN] 13:00~18:00  
[定休日] 月~金(不定営業休日あり)



店内内装は関田さんが2~3年かけて作り上げた作品のひとつ



花器 4,700円、オブジェ 14,000円、トイレットペーパーホルダー 3,500円、フルーツピック 700円、バターナイフ 1,600円、マドラー 1,080円、ディップナイフ 1,100円、スプーン 大 2,950円 小 2,450円、ミルクパン 19,500円、ポストカード 150円



ここを起点に谷保めぐりもおすすめ♪



ウォーターマーク

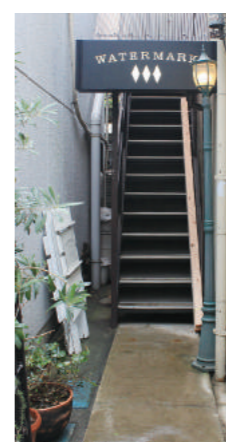
アーツ&クラフツ

## WATERMARK arts & crafts

暮らしを豊かに彩る アートとの出会いを楽しんで

大学通りに昨年オープンしたギャラリーはまるで秘密基地のよう。オーナーの清水夫妻が惚れ込んでセレクトした絵画、版画、彫刻、オブジェ、クラフトなど、月ごとに展示される作品はどれも素朴で愛らしく身近に置きたいものばかり。買い物途中にぶらっと立ち寄れるカジュアルさも魅力。日々の生活でアートを気軽に楽しんで。

国立市東2-25-24 2F  
[TEL] 042-573-6625  
[OPEN] 12:00~18:30  
[定休日] 現在、展覧会会期中のみ営業  
※展示スケジュールはWEBにてご確認ください。



旅する気分で地元めぐり

## KUNITACHI TRAVEL

秋のアート散策ツアー

プレゼントの応募方法については裏表紙をご覧ください。

実際に触れてアートを五感で感じられる作品も(榎本悦子・光の為のうつわ)



お気に入りの作家さんや作品を探しにきてください!



渡邊晃人さん。西国分寺・ぼんまりなどで腕を磨いた

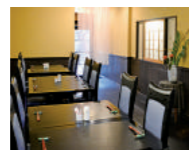
店内は全35席。慶事の集まりなどにも利用したい夜のコース「しゃくやく」5,940円  
ランチは1,404円~

## 旬菜和食 葉月

美しい彩りに感謝をそえて  
くつろぎ振る舞う創作和食

「国立に暮らして20年。自分と家族を育ててくれた方々へのお礼に、落ち着いて食事ができる場所をご提供したかったんです」。渡邊さんが葉月を開店させたのは6月。すでに評判の創作和食は、フレンチの手法が活かした彩り豊かな盛り付けも楽しんでほしい。さまざまな食材が揃うこの季節、味な恩返しもいよいよ本番だ。

国立市東2-2-32  
[TEL] 042-505-5712  
[OPEN] 11:30~15:00(L.O.14:00)  
17:30~22:00(L.O.21:00)  
[定休日] 月



[右] キッシュランチ 500円  
日替わりランチ750円もあり  
[左] 日替わりおまかせ夜ごはんプレート 1,200円

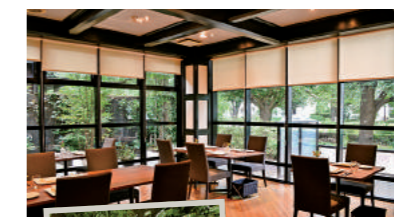
くにたち野菜工房

## 中道カフェ

中道のやさしさはハンドメイド  
温もりあふれる商店街のカフェ

第一小の北側、南養寺へと続く道。この春矢川駅前商店街にオープンしたカフェは、この通りにちなんでいる。「内装は中道周辺の仲間と一緒に作ったもの。毎朝採れたての野菜を運んで歩くのも中道なんですよ」と笑うのはオーナーのあいさん。美味しいごはんと居心地の良い空間、地元で生まれた手作りのやさしさを感じてほしい。

国立市富士見台4-12-11  
[TEL] 042-848-4991  
[OPEN] 月火木土 11:30~22:30  
日 11:00~20:00  
[定休日] 水



▲全16席。特注のウオールナットテーブルが並ぶ  
◀土田哲也シェフ

国立市東4-1-48 鈴木ビル1F  
[TEL] 042-505-7719  
[OPEN] Lunch 11:30~15:00  
Dinner 18:00~22:00 ※L.O.はCLOSE1時間前  
[定休日] 月



## Restaurant セゾニエ SAISONNIER

コース料理を五感であじわう  
緑のフレンチ・ミュージアム

シンプルな抽象画が壁面を飾り、室内楽が慎ましく流れる。緑豊かなアプローチの先に広がるのは、美術館を連想させる食の空間だ。テーブルに並ぶ料理は、土田シェフが妙技を尽くしたフレンチのコース。1日の数に限りがあるため、事前の予約をおすすめしたい。芸術の秋を五感で堪能できるレストランが誕生した。

料理はコースのみ。  
ランチ1,944円~、ディナー4,320円~





富士見台まちかど「ごぜん塾」

ココロもカラダもフレッシュな午前中に楽しく学び合おう  
 【場所】 プラムジャム(国立市富士見台1-7-1102号)  
 【時間】 午前10時~12時



子供にiPadをプレゼントしてもらったものの、使いこなせていない。そんな貴方、朝の時間をおトクに使ってませんか？

富士見台第三団地1階の「プラムジャム」で、この秋から講座がスタートしました。名付けて、「富士見台まちかど『ごぜん塾』」。市内で活動する方々を講師に招き、ココロもカラダもフレッシュな午前中に楽しく学び合おうという試みです。  
 曜日ごとに設けられた講座メニューも幅広く、iPad講座をはじめ、ハンドエステ体験、ネイティブ英会話など盛りだくさん。  
 注目講座のひとつ、「シニア向けiPadでお買い物教室」では、iPadの基礎を身に付けながら、実際にネットショッピングを体験。「インターネットでの買い物は怖い」「そもそもパスワードの設定がよくわからない」などの不安を解消しながら、実践へと導きます。講師の隈井裕之さん(国立せいさく所)。「シニアの方こそiPadは馴染みやすいツール。体調を崩したり、万のときに簡単に買い物ができるべき」と語ります。

月曜日「シニア向けiPadでお買い物教室(全6回)」  
 日程: 10/27, 11/10, 11/17, 12/1, 12/8, 12/15  
 受講料: 6,000円(6回分) 定員: 5名  
 講師: 隈井裕之(国立せいさく所)  
 「パソコン、スマホ、タブレットお困りごと相談」  
 日程: 11/3, 11/24 \*無料

木曜日「ハンドエステ体験」  
 日程: 10/30  
 (15分/ 500円、特別エステ1,000円)  
 講師: 藤井麻由美(ママエステアシスト協会)

金曜日「クリスのPractical English(初級~中級)」  
 日程: 毎週金曜日  
 (1回1,500円 定員10名 \*毎月4回分前払い)  
 講師: クリストファー・ロビン(カナダ人英会話講師)

主催: くにたち地域コラボ  
 申込み・問合せ: info@kunitachicollab.com ☎042-573-1023(水曜除く平日13時~17時)

あなたの園庭にお馬さんをお呼びませんか。



ジャックとダンディは2頭の小型の馬。これまでの9年、日野市の委託で保育園や幼稚園を訪問し、ふれあい乗馬を体験した園児はのべ2万人以上。  
 穏やかで子どもたちに良く馴れ、優しく表情豊かな2頭が、この秋、くにたち谷保の「はたけんば」に引越して来ます。この機会にぜひ、ジャックとダンディが園庭にやってくるワクワクを乐しまませんか。(2頭の馬小屋製作資金など、寄付も同時に受け付け中)

【派遣可能時期】 2015年2月~3月  
 【派遣可能先】 国立市の幼稚園・保育園の園庭、保育所や子育てサークルなどが利用する公園。  
 【内容】 乗馬は3歳以上。1、2歳児は写真撮影など。他にえさやり、触れ合いも。  
 【料金】 1時間¥19,000~ 【問合せ・申込み先】 ☎080-5021-6528 平島  
 ブログURL <http://jack-dandy.cocolog-nifty.com/>  
 ※主宰の市民活動団体「リトルホースとふれあう会」は、動物取扱業者として東京都に登録されています。登録番号: 24 動相多第191号

東京消防庁  
**防火・救急標語**  
 募集中!

災害はいつ起きても不思議じゃない! ここ数年、様々な災害が増えています。「いつ、どこで、何が起きるか」は、だれにもわからないもの。「まさかよりもしものための 火の用心」(平成11年度・防火標語より)。みんなの心に残る標語を作って応募しよう! 防火・救急標語の最優秀賞各1点に、《賞状と旅行券5万円》を呈呈。

募集要項・過去の標語は「東京消防庁」で検索を。締切は11月15日(土)



第26回 **くにたち兼松講堂 音楽の森コンサート**

一橋の生んだ世界的演奏家シリーズ vol.2

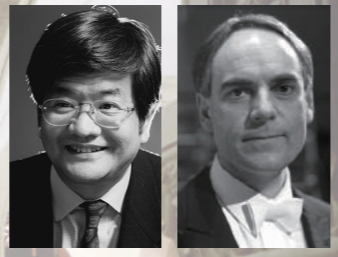
モンテベルディ **聖母マリアの夕べの祈り**

西洋音楽史上最大の作曲家モンテベルディの代表作。欧米ではヘンデル「メサイア」をしのぐ人気作品です。初期バロックの魅力をぜひ兼松講堂で!

2014年10月26日(日) 午後3時開演(開場2時30分)  
 一橋大学兼松講堂(JR国立駅南口徒歩7分)



【演奏者】(ピリオド楽器使用/ピリオド唱法による)  
 渡邊順生/指揮とチェンバロ  
 わが国の古楽演奏家の雄。一橋大卒。  
 ジョン・エルウィス/テノール  
 ヨーロッパ古楽声楽界の頂点に立つ。  
 独唱: 鈴木美登里、櫻田亮ほか  
 合唱: モンテベルディ・アンサンブル  
 管弦楽: ザ・バロックバンド  
 ナビゲーター: 磯山雅(国立音楽大学招聘教授)



【前売券】(当日は各500円増し)  
 S席 5,000円(指定・親子セット限定20席あり)  
 保護者同伴の小中高生は学生券で指定席可  
 A席 4,000円(自由席) 学生券 2,500円(自由席)  
 ★親子セット券のお申込み、また車いすのご来場は、あらかじめ直接主催者までご連絡ください。  
 ★未就学児童のご入場、お車のご来場はご遠慮下さい。

【チケット販売】  
 一橋大学西生協/白十字南口店/リストランテ国立文流/くにたち市民芸術ホール/とれたの/東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650

【問合せ・予約】  
 コンセールブルミエ ☎042-662-6203(月~金 10:00~18:00)  
 【主催】ポランティア・チーム如水コンサート企画(☎090-8495-4582)

※詳細は公式ホームページ「如水コンサート企画」で検索(お申込みもできます)

くにたちアートビエンナーレ 第1回野外彫刻展

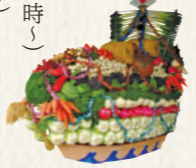
市民賞は「模型展示会」の来場者投票で!



この夏、全国から集まった119点の中から、選考委員(建畠哲・福永治・池田良二各氏)による第2次選考会で15作品が選ばれました。11月17日には模型(マケット)審査による第2次選考会で6作品を選出、さらに来年3月30日の実物作品の最終審査によって、大賞、準大賞、優秀賞、市民賞が決定します。作品は大学通りに永年設置されます。  
 その市民賞を決めるのは、「模型展示会」の来場者投票。作品は下記の会場で巡回展示されますので、ぜひあなたの票を投じてください!  
 ※投票用紙は、展示会場及び市内主要施設にて。

【展示会場】  
 11月3日(月・祝) 10時~17時 @国立駅 南北連絡通路  
 11月5日(水)~10日(月) 10時~19時(最終日12時まで) @コミュニティ・スペース旭通り Aホール  
 11月12日(水)~16日(日) 10時~17時 (13日(木)は休館日、最終日12時まで入館16時30分まで) @くにたち郷土文化館 研究室  
 11月19日(水)~21日(金) 9時~17時 @国立市役所 市民ロビー  
 【問合せ】 くにたちアートビエンナーレ事務局 ☎042-574-1512 ☒info@kunitachibiennale.jp

国立市農業まつり(第37回国立市農業展)  
 くにたちの畑の採れたて新鮮野菜がいっぱい! 豊かな秋のみのりを、ぜひ味わってください!  
 11月8日(土) 10時~16時(けんちん汁・谷保産米のおにぎり配布は12時)  
 11月9日(日) 9時~16時(谷保産もち米を使った餅つき大会は12時)  
 場所: 国立市役所 ロビー及び駐車場  
 農産物品評会・一般公開・予約販売(8日は14時~、9日は9時~)  
 野菜の直売・葉ボタン・パンジーの無料配布や大根の引き抜きイベントもあります。



11月20日(木)、解禁。  
 くにたちとボージョレが出会う秋

*Sekiya Presents*  
*Beaujolais Villages Nouveau*  
*Kunitachi*



限定1,200本  
 参考価格 3,900円  
 ご予約特別価格 2,580円  
 ご予約申込期限 11月16日(日)

※画像はサンプルです。実際の商品とは若干異なる場合がございます



生産者：ドメヌ・ド・ボワシャン  
 名門ワイナリー・デュボンの生産者。栽培から醸造まで一貫して行い、常に真摯な姿勢でワイン造りと向き合っている。

ボージョレ・ヴィラージュ・ヌーヴォー くにたち2014

今年のオリジナルラベルは関頭亭氏の『谷保晩秋1937年(本号表紙)』。懐かしい谷保の風景と生まれたてのボージョレワイン、時代と場所を越えて交わる秋をご堪能ください。

収穫の季節に、À votre santé (乾杯) !!

「ヌーヴォーを美味しく楽しむ会」

2014年11月20日(木) 19:00 ~ 20:30 (18:50 開場)

[会場] せきやビル 7F エソラホール [参加費] 4,500円

[定員制] 60名 ※詳しくは店頭、またはお電話にてお問い合わせください



国立市中1-9-30 せきやビル  
 B1/1F ☎042-571-0001  
 OPEN [1F] 11:00-22:00  
 [B1F] 11:00-22:00

せきやのワインアドバイザー大久保さんに聞く  
 ワイン初心者だつて大丈夫！  
 くにたちボージョレを  
 美味しく味わう Q&A



「今年のボージョレ地方は天候に恵まれ、品質の良い葡萄を栽培することができました。昨年もご好評いただいたボワシャンの手により、どのような出来栄になるのか、私も皆様同様に期待しています。またオリジナルラベルは、数々の作品や作家・山口瞳氏との交流で知られる、国立在住の芸術家・関頭亭氏の絵画です。こちらもご堪能いただきたいですね」

Q ボージョレを  
 おいしく飲むコツは？

A 冷蔵庫の野菜室に1時間。ちよつど飲み頃になります。

ボージョレの魅力は渋みの少ない新鮮さ。赤ワインながら白に近いと言えるかもしれません。この風味は軽く冷やすことで一層引き立ちます。飲む前に1時間ほど冷蔵庫の野菜室(10~14℃)に入れておいてください。一番おいしい状態で召し上がりたいだけです。

Q ストレート以外の  
 飲み方ってあるの？

A ・・・ボージョレのカクテル、  
 カーディナルがおすすめてです。  
 カーディナルは新酒の爽やかさ



名前は聖職者の赤いケープを意味する「右」マリーフランソワズ・カシス(500ml/3,020円)。自然な製法にこだわった、プレミアムな1本「左」ルジェカシス(200ml/700円) 1841年誕生の元祖カシスリキュール

を活かしたカクテルです。

作り方は簡単で、ボージョレとカシスリキュールを4:1の割合でグラスに注ぎ、軽くかき回せば出来上がり。お好みで氷や炭酸を足してもよいでしょう。食事の前中後を問わず、すっきりとした甘い飲み口をお楽しみください。

Q ワイングラスは  
 緊張します…

A ・・・寛いで味わうことが大切。  
 お好きなグラスでどうぞ。

ワインを最も美味しく飲めるようデザインされているワイングラス。ただし美術品さながらの繊細な作りだけあって、取扱に気を遣うのも確かです。元々ボージョレは、その年の収穫を祝つて親しい仲間たちと陽気に飲むお酒。お気に入りのグラスを片手に、リラックして味わいましょう。



[左] 脚が無いタイプのワイングラスもある(スタッフ私物)

チーズで引き出す新鮮な果実味  
 年に1度の幸せなマリアージュ

[右] クラリーヌ 250g / 2,651円  
 [左] トメット・オ・ボジョレー 100g / 880円



ボージョレの新鮮な果実味は、クセのない料理と合わせると一層引き立ちます。チーズであれば口当たりのよい「クラリーヌ」、表面をボージョレで磨いた「トメット・オ・ボジョレー」が相性抜群。年に1度のマリアージュ、最良のチーズでお楽しみください。

チーズお問合せ先 チーズ専門店&カフェ  
 サロン・ド・テ・チーズ王国

立川市栄町4丁目16-1 [OPEN] 10:00~19:00(火休) ☎042-513-4101

